

# ハ乙女



令和4年 南砺市成人式

## おめでとうございます



### 寅年をむかえて

南山見地域づくり協議会 会長 碓井好彦

明けましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの影響で予定していた各種事業を縮小せざるを得ないなど、南山見の地域づくりが軌道に乗り切れない歯がゆさを感じているのは、私だけではないと思っております。

そういった中でも、イノシシ対策としての地区内現地視察や、新型コロナウイルス対策を考慮しての避難訓練（机上訓練）、「地域誌（仮称）」発行に向けたふるさとの歴史文化調査委員会の活動、敬老の集いと文化祭を併せての開催等、身近な課題解決、先を見た地区の安全・安心確保の活動が着実に進んできたことは特筆すべきことと思っております。また、今年度も地区内から上がってきた各種要望を、井波連合会の要望に盛り込んで市や関係方面へ提出しました。特に、野焼きの課題は、要望提出と時を同じくして、市が剪定枝対策として実施され、地区民にとっても好評でした。今年も春秋に実施されるようです。このように、要望事項が一つずつ実現されていくことはとても有り難く、皆様の温かいご理解とご支援のたまものと思っております。

さて、今年の干支は、「壬寅」。「壬」は厳冬、静謐、沈滞を表し、「寅」は動く意味で、春が来て草木が生ずる状態を表し、これらを合わせ考えると、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるというイメージになるそうです。これまでの厳しいコロナ禍を脱して、明るい未来への大きな発展・繁栄の年になることを願うものです。

# 寅年の

## 新年を迎えて



### 自分の目標



澤田隼弥  
(平成22年生)

僕は、今年頑張りたいことが二つあります。

一つ目は水泳です。去年は自由形で県大会まで行きましたが、あまり良い成績を取る事が出来ませんでした。今年には県大会で良い成績を取りたいです。そのためには、少しずつタイムを縮めなくてはなりません。コーチに言われた事を意識しながら日々練習にはげみたいです。

二つ目は中学校生活です。僕は今年、中学一年生になります。中学校では勉強が難しくなるようなので、頑張りたいです。また、部活動も頑張りたいです。中学校では新しい事がいろいろありますが、何事にもチャレンジしていきたいです。

僕は新年にこの二つを目標としましたが、初志貫徹、心身ともに成長していきたいと思っています。

### 今年がんばりたいこと



瀧田夏睦  
(平成22年生)

私が今年がんばりたいことは、委員会です。私は今年運営委員会の委員長になりました。運営委員長は主に、よりよい学校にするための企画を考えま

す。また、運営委員長は児童代表でもあるので、井波小学校の「顔」として、みんなのお手本になれるようにがんばりたいです。

また、コロナウイルスの影響でいろいろなことが中止になることがあるかもしれませんが、小学校生活最後の年を楽しみ、悔いのないようがんばりたいです。

### 前向きな気持ちで



徳成百香  
(平成10年生)

昨年はコロナ禍によりイベントや旅行などの楽しみがなく、いつ収束するかわからない状況で不安や不満が募る日々でした。ですが一方で、周りの人の温かさや時間の大切さを感じる事ができた年でもありました。また、生活様式の変化により、様々なシステムにおいて以前より便利になったと感じることもあり、悪いことばかりではないと感じました。

その上で今年、こんな状況だから無理だと落ち込むより、こんな状況だけに、こうしようという前向きな気持ちを持って、一日一日を大切に楽しく過ごしていきたいと思っています。

### 新年の抱負



山本裕司  
(昭和61年生)

早いもので四回目の寅年を迎えました。去年はコロナ禍の中であつても、仕事も順調にでき、いい年になったと思います。

コロナウイルスもようやく落ち着いてきた感じがありますが、自分や自分

の家族を守るためにも更なる感染予防の徹底をして、健康第一に仕事や趣味を楽しみたいです。年齢を重ねるに連れ、守るものや仕事の責任なども比例して多くなつていき、辛いこともたくさんありますが、常に新しい事に挑戦するという気持ちを忘れずに、自分自身を更に成長させていきたいと思っています。

### 心の癒し



井上光英  
(昭和49年生)

私は、我が家から見える景色が大好きです。砺波平野や八乙女山を見ながら、夕陽や夜景を眺めたり、四季によつて野山の景色が変化していく様子を見付けたりすると、穏やかできれいな景色に心が癒されます。

高校生の子供たちは、生まれたときからこの景色の中で育つてきているせいか、大学での生活に慣れてきているようです。南山見を離れ、様々な景色を見て改めて南山見の景色の良さ、人の温かさに気付いてほしいと思っています。

コロナ感染症がなかなか終息せず、子供の行事や家族旅行など、従来通りできないことが多く、今年も我慢の時期が続くかもしれません。この生活に心身ともに疲れを感じますが、嫁いだときから変わらない連代寺からの景色を見ながら心を癒し、今年も家族の健康とコロナの終息を願いたいと思います。

### 感謝と継続



亀田博義  
(昭和49年生)

年男を迎えるにあたり、この十二年を振り返ってみました。三十代後半か

ら四十代前半にかけて中国三拠点勤務で貴重な経験をし、激動の中で自分個人や仕事を中心であったことが多かったと思います。平成二十九年に日本へ戻つてからは、十年程フランクとなつていました各種団体、組織の構成員や、役員をさせて頂く機会が増えました。知らない仕事、初めての事ばかりですが、なんとか務めさせてもらっています。地域行事等に関わり合う機会も増えて、いろいろと教えて貰うことが多く、改めて皆様に支えて頂いている事を実感し、感謝しています。

更に一昨年から米作りにチャレンジし、四季の移り変わりや自然の力強さ、有難みを肌で感じていきます。この素晴らしい南山見地区の人や環境の中で一日一日を積み重ね、十二年後の還暦を迎えたときも、一振り返れば充実していたなと感じることが出来るよう過ごしていきたいと思っています。多少衰えを感じ始めています。健康に留意し、微力ながら地域づくりにお役に立てるよう、積極的に各種行事に参加していきたいと思っております。皆様、今後とも宜しくお願いします。

### 心穏やかに



山本智代  
(昭和37年生)

結婚して三十年余りが過ぎました。春はカメムシ、井波風、冬は大雪。今では猪も、なかなか厄介な場所です。でも、広々と深呼吸したくなる気持ちのいい所です。

最近、山歩きを始めたところですが、裏の高清水山はとても気に入っています。そのせいか、自宅周辺の自然や風景も捨てたものではない気が付きました。そうなるかと欲張りな私は、なんでも知りたくなるのです。山や川

や木々の事など。そこで、皆さんにお  
願いです。どうぞ私にその知識や知恵  
を分けてください。豊かな自然が永く  
続き、みんなで楽しく心穏やかに暮ら  
していければと思っています。

### 地域に感謝



澤 田 秀 継  
(昭和37年生)

今年還暦を迎え六度目の年男となり  
ました。今年の寅年は「壬寅(みずの  
えとら)」で、しかも寅年の中でも三十  
六年に一度しか巡ってこない「五黄の  
寅」と呼ばれる、特にパワフルの強い年  
だそうです。「壬」には、厳冬に耐え内  
に蓄えた陽気で時代の礎となることを  
示し、「寅」には、新しく動き始める段  
階という意味があり、併せて厳しい時  
を超えて新しく立ち上がることに動き  
出す年になるといふことだそうです。  
一昨年より続いているコロナ禍で、人の  
気持ちや経済に暗い影を落とし、不安  
や不満が渦を巻いています。今はま  
さにそれに耐えて、明るい未来が胎動  
する年になってくれることを願ってい  
ます。

この地に生まれ、家族や地域の方々  
に育てていただき、今は農業の仕事をして  
います。漠然と暮らしていた中  
で、コロナ禍になった事から、この地域  
のひととの繋がりが、気持ちを癒してく  
れるこの環境が大変ありがたいことだ  
と改めて気付かされました。防除の仕  
事で各地に出向きますが、南山見地区  
ほど圃場の手入れが行き届いた所は在  
りません。この環境を維持し、ひととの  
繋がりを大事にして感謝の気持ちをお  
忘れず、「結」の精神で、次世代に継承さ  
れますように、微力ですが努力してい  
きます。

### あの頃



岩 崎 喜和子  
(昭和25年生)

年女も七回目を迎えます。長い年月  
が過ぎたのだと実感させられる思いで  
す。その間には、南山見保育所での六  
年間もありました。

あの頃は、今思えば何とのかな時  
代だったでしょうか。子供達の名前も  
全員知っていたし、いろんな行事(節  
分の鬼の役とか)にも参加しました。  
給食では、一人で忙しい日もあったり  
しましたが、「大きいプリンが食べたり  
しました。その月の誕生日の人には  
みんなより大きい物を出したりしまし  
た。院瀨見の「馬かけ場」まで運んで  
園外給食も。今では考えられません。  
近年は衛生面の強化で、安全、安心に  
取り組む子供達への日々が続いていま  
す。そんな中、四才になったら子供達  
だけで帰る活動を、見通しの良い園庭  
から「早よ帰られー」と大きな声で  
叫んでいたのどかな風景も思い出し  
ます。

現在はコロナの嵐が吹き荒れてはい  
ませんが、少しでも悪しき事が少ない年  
となる事を願っています。

### 寅年に想う



山 本 久 美  
(昭和25年生)

昭和二十五年にこの世に生を受け、  
七回目の寅年を迎えた。思い返せば艱  
難辛苦、いろいろなことを経験した。

学校を卒業して、大建工業井波工場へ  
入社。約十年間化粧板の製造に従事  
し、その後ポイラー運転業務に配属と  
なった。ここは、国家資格が必要だっ  
たので、二年の実務経験の後他社での  
実技研修を経て、二級、一級と受験、  
無事合格し、その後三十年間ポイラー  
技師として従事した。名前は立派だが  
中身は、工場から出る総てのゴミを焼  
却し、蒸気を発生させ、熱源として、  
必要とする部署へ送ること、工場内の  
メンテナンスを行うことが日常の業務  
だった。平成三年九月、工場内の集塵  
機で爆発火災が発生。その煽りでポイ  
ラー室内でも爆発火災になり、全身火  
傷を負い約二か月入院したことは脳裏  
に深く刻まれている。

現在は、外孫の朝夕の保育園への送  
迎に勤しんでいる毎日である。日中の  
空いた時間には、民生児童委員とし  
て、ファーム八乙女の役員兼パート作  
業者として、集落内団体の役員として  
活動させて戴いている。また、趣味の  
範囲で家庭菜園にて野菜の栽培をし  
て、収穫を楽しんでいる。

これまで何の大病や怪我也無く過ご  
せてこられた事に感謝し、地域の人々  
や交友関係の皆様、御陰様でと御礼  
を申し上げます。

### お陰様



横 江 悦 子  
(昭和13年生)

昭和十三年に生をうけ、平成・令和  
を生き、八十三才と長生きさせても  
らって居ります。

大自然のお陰様、いろんな方々のお  
陰様、家族のお陰様、お陰様のなかで暮

らさせてもらって居り、感謝感謝です。

### 健康第一



松 長 郁 夫  
(昭和13年生)

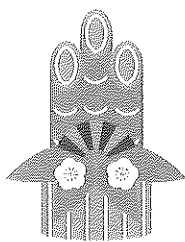
今年の干支は寅年、年男も八度目を  
迎えました。

節目を迎え月日が経つ早さを思い知  
らされます。ここまで元気で来られた  
のも皆様に支えられたお陰、と改めて  
感謝いたします。

過去を振り返ると、昭和二十年代の  
激動の時代を思い出します。食用米は  
供出し僅かに残った米とイモ類が主  
食、衣類や食料品などは配給制で大変  
苦労しました。学校で使用する教科書  
は新聞紙のようなお粗末なもので、し  
かも上級生からのお下がりももらい使  
用していました。現在は物が沢山あり  
ますが、今思えば大変な時代を過ごし  
たことを思い出します。

最近、年を重ねるごとに体力の衰  
えを感じるようになり、散歩など軽い  
運動をするように心がけています。ま  
た、自分の好きな庭木仕事で剪定や防  
除などを行っており、働く喜びを感じ  
ながら今も続けています。これからも  
「健康第一」で体に気を付けながら過  
ごしたいと思っています。

最後に地域の皆様、今年も宜しくお  
願い致します。



まちづくり部会

令和四年 新年の集いを開催しました

まちづくり部会長 山本義秀

昨年が続いて、新型コロナウイルス禍のため参加者は地区内の町内会長、区長、協議会の理事等、参加者制限と酒席無しの「新年の集い」になりました。

確井地域づくり協議会長からウイルス感染対策のため十分な活動ができなかったこと。支出できなかった予算を施設の修繕に充てて、改善できたことなどの報告がありました。

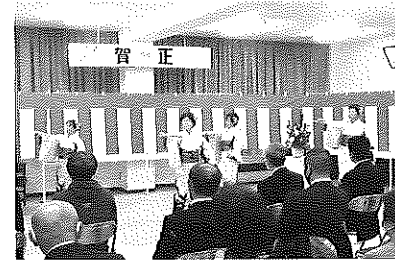
来賓の才川議員から病院改革などの市政報告および、市議会の取り組みについてお話がありました。

マーシ園の豊川施設長から、マーシ園八乙女移転新築計画の概要説明がありました。昭和47年に南山見小学校跡地に建設され、それから49年経過し老朽化が著しく、立替えを行うとのことです。現RC作りの敷地に隣接した北西側は場55aに鉄骨造平屋建てで建築し、移転後の跡地は駐車場になるそうです。なお定員は増やさず相部屋から個室になり、ゆつたりと過ごしてもらおうとのこと。

すでに令和三年度から事業は始まっており、移転用地内諾、現況測量等が済み、六年七月から建築工事着工。翌七年十月には竣工移転、旧施設解体と計画されています。

私がボーイスカウト活動で、栄町にあったマーシ園で年末餅つきを行った時から六十年近く経ちますが、これからも無くてはならない施設であり続けていきたいと思います。

この後、恒例の詩吟と踊りがあり新春を楽しみました。気苦勞の多い一年が始まりますが、負けずに頑張ろうと気を引き締めた一日でした。



健康・福祉部会

敬老の集いと米寿祝い

南山見地区社会福祉協議会 事務局 前川幸雄

好天にめぐまれた十二月二十二日、コロナが収まりそうではありませんが、同時に第六波が心配される中、二年ぶりに第三十回敬老の集いを南山見交流センター体育館において開催しました。今までと違って、今年から八乙女文化祭と合わせて行うことになりました。しかし、コロナの影響によりステージの設営もなく舞台発表もなく、少し寂しい文化祭でしたが、敬老の集いは盛大に開催することができました。

南山見地区の七十五歳以上の招待者百九十六名、米寿の祝いの方が十二名、その内四十八名の方が出席されました。米寿の方には、確井地域づくり協議会会長より、記念品と市からのお祝い状を渡していただきました。式の後、アトラクションとして、大正琴の演奏、萌黄会の踊り、そして、飛び入りの篠原地区社会福祉協議会会長による相撲甚句があり、短い時間ではありましたが、楽しんでいただけたかと思えます。

また、会場に入る前、敬老の集いの終了後に文化祭会場の展示物、農産物を鑑賞して帰られました。

当地区の招待者は、年々減ってはおりますが、地区住民の二人に一人という超高齢化に近づきつつあり、若い世代も含め一人一人が明るい未来に向け、どうあるべきかを考える時がきております。最後に、準備にご尽力いただいた社会福祉協議会の皆さん、ご協力くださいました地域づくり協議会の健康福祉部会の皆様、感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年は、もっと多くの方が出席されるよう望んでおります。そして、文化祭も従来通り開催され、多くの来場者の方々にお祝いしていただきたいものです。



- 令和3年 米寿祝
- 米寿のみなさん おめでとうございます
- 前川テリ子 様 (院瀬見1区)
  - 田中美智子 様 (院瀬見2区)
  - 田村よし子 様 (院瀬見3区)
  - 吉田かずい 様 (院瀬見4区)
  - 林 光子 様 (東 城 寺)
  - 朝倉 和夫 様 (連 代 寺)
  - 山本 辰枝 様 (連 代 寺)
  - 前田 律子 様 ( 谷 )
  - 澤田富美子 様 ( 沖 )
  - 高嶋 清子 様 ( 沖 )
  - 徳成 一雄 様 ( 沖 )

南山見地区社会福祉協議会 事務局 前川幸雄



体づくりレクリエーション

ふる里探訪 八乙女山トレッキング

山案内人 松田 博志



学習・スポーツ部会



山々が紅葉に染まる十月三十一日(日)朝九時、十八名の参加者が交流センターに集まり、乗用車に分乗して登山口の八乙女峠を目指す。

峠からは、トレッキングの開始だ。最初は足慣らしの為作業道を歩き、八乙女山の頂上(七五六m)に向う。此処には二本の大杉があり、風雪に耐えてきた枝ぶりは異様であり、実に見応えがある。

登山道は急な下りになり、ロープを頼りに一歩一歩慎重に下ると作業道に出る。しばらく歩くと、古来より死者の祟りや怨念が大風となつて、この穴から吹き出すと信じられていた「風穴」や、「毎年正月の元旦には時を謳う也、此れを聴く人は忽ち福饒の身となる」と伝わる「鶏塚」に着く。何れもこの地は、神聖な場所として古来より崇められて来た。

登山道は幾つかのアップダウンを繰り返すが、杉、ブナ林や天池等があり変化に富んだ何とも楽しいコースだ。急に林が開け痩せ尾根に出ると、砺波平野から日本海を、東側に目をやると遠くには北アルプスの山々が一望でき実に壮観である。

この稜線を進むと「栃原峠」であり、国道一五六号線が開通するまでの間は五箇山地方と里を結ぶ主要な峠で、その歴史を語るかのように七本余りの大杉が一行を迎え、地蔵様がしばしの安らぎを与えてくれた。

今日一番の急登は此処からだ、仲間同士励まし合いながら、ゆつくり確実に上り詰めていくと、急に緩やかな稜線に出る。紅葉も鮮やかなブナ林の小道が続き、折り返し点の「覗口峠」はすぐ其処だ。爽やかに汗をかき、峠で昼食をとった。

婦りのコースは作業道を選択し、散居村が眺望できる所では、我が家は何処かと、探しながら八乙女峠へ向かう。峠から林道八乙女線を車で下り、「不動滝の霊水」で喉を潤した。

地区内の自然や歴史、文化に触れる事が出来た「ふるさと再発見」のトレッキングであった。

(松田 博志)



ふる里探訪トレッキングとして、十月三十一日に、総勢十八名で参加しました。

目的の地は振り返ると常に眺める八乙女山。交流センターより、五台の車に分乗し八乙女峠に到着。八乙女峠より案内役の松田博志氏の説明を聞きながら歩を進めました。

まずは、八乙女三角点(七五五m)に到着。八乙女山の頂上かと思えば八乙女山頂が(七五六m)と知り、高さの再確認をするにいたりました。更に紅葉を眺めながら歩を進め、井波に暴風を吹き下ろす風神堂の風穴、鶏塚シナの本々林を通り抜け栃原峠へと。石碑が建立されており、文字は故亀田新三郎氏の揮毫されたものでした。

お昼に覗口峠で休んでいると、コロナ禍で中止になっていた道宗道を駆け巡る、数人の若者達に驚きました。今回は大寺山までは足を伸ばさず覗口峠で折り返し、途中木々の間から南山見地区の位置確認をしながら、和気あいあいとトレッキングを楽しんできました。

最後に不動滝の冷たい水で喉を潤し、誰一人ケガ・事故なしで交流センターに戻ることが出来、八乙女山の稜線を振り返りました。

(亀田 清美)



# 第44回 八乙女文化祭 大成功!!

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止により、残念ながら八乙女文化祭を中止し、エントランスでの「ミニ作品展示」のみ実施しました。

今年度は、ステージ発表や模擬店は取り止め規模を縮小した形で、11月21日(日)に2年ぶりに開催しました。小春日和の好天に恵まれ、今回初めて「敬老の集い」と同時開催したこともあり、早朝から大勢の皆様にご来場頂きました。

開会式では、碓井会長や才川市議のコロナ禍にあっても創意工夫しながら開催することに意義があるという力強い挨拶を頂きました。「敬老の集い」のセレモニーに続いて、南山見花びらの会の大正琴や萌黄会の舞踊、篠原副会長の相撲甚句によるアトラクションで、お祝いムードを盛り上げて頂きました。

大ホールや会議室では、各種団体の活動報告や絵画、書道、写真、手芸、園芸等の多彩な作品が展示されました。また、近隣では当地区だけという農産物展示と即売が行われ、品評会では金賞10品が選ばれました。作品や農産物は、「どうしてこんなに素晴らしいのか」と目を見張るものばかりで、制作者や生産者の工夫や努力の跡が伺えました。また、作品68点、農産物83点の出品数の多さには驚くばかりでした。

エントランスでは、成年部によるサンドイッチ、ドーナツ、お寿司のテイクアウトが好評でした。また、野菜の重量当てクイズにはたくさんの応募があり、入賞者には豪華賞品が贈られました。

1日で総勢150名を超す来場者があり、久しぶりに南山見地区の交流の輪を広げ、成功裡に終了することができました。これも偏に、準備から運営、片付けまでご協力いただいた理事会役員や各種団体等、多くの方々のお陰です。有難うございました。(実行委員長 田中 一昭)



農産物品評会  
「金賞」受賞の皆さん

リンゴ	武田 史郎 様
生姜	武田 史郎 様
白菜	直江 稔 様
ゆず	武田 秀和 様
里いも	川原 彦市 様
富有柿	長田 綾子 様
キャベツ	銅 光枝 様
ネギ	銅 光枝 様
聖護院大根	銅 光枝 様
小豆	松井 泰範 様



品評会  
金賞受賞者

## 八乙女セミナー 詩吟クラブ活動

令和4年の幕開けもコロナ禍で視界不良の中、当クラブも、不安との戦いが今も続いています。今年も例年の如く毎月(第一・第三土曜日)を練習日と定め、実施しています。

活動内容は、身体をほぐす、軽い柔軟体操、声出しから始まり自分に合った音階調整の確認がまず基本として声の調整を行います。題材は自由ですが、時には発表会や地区大会、全国コンクール等々もあり多岐にわたり、練習題材は豊富です。

声出しも自分で充分言葉を発声しているつもりでも相手(第三者)にその言葉が伝わらないことが多く、腹の底から大きな声で吟じることで、それも解消…とは言うもののその基本

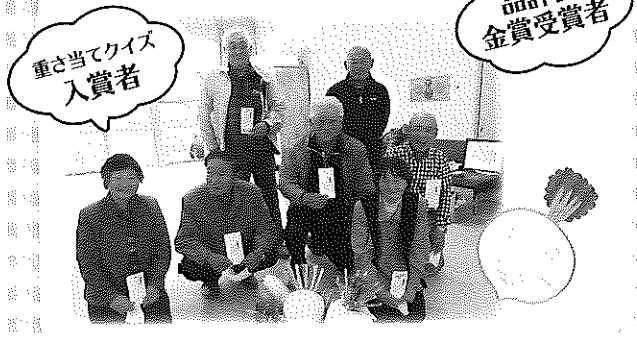
は誰も満足できないのも事実です。

詩吟はもともと日本の歌として発展した伝承芸能ですが、漢詩他、俳句短歌等も吟じますが作者の心情、歴史観にも触れ精神修養にも最適と云われています。

今年も地域づくり協議会から「新年の集い」の行事に誘いを受け漢詩和歌二題「新年祝いの詩」・「春」を吟じさせて頂き大変光栄に感謝申し上げます。

声量は年齢と共に衰えを感じながらも「生涯学習」としても練習を重ねて行きたいものです。吟ずる事は年寄の言葉遊びと、ちまたに聞くことがあります。それは誤りで明日からでも誰でもできる趣味の世界です。是非何方でも遊びに来てください。大歓迎です。

(詩吟クラブ 小橋外喜雄)

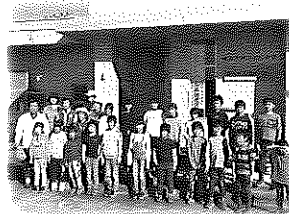
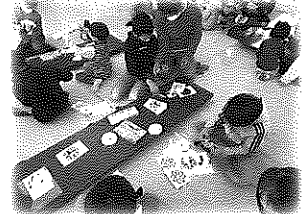


# 児童クラブ

## 花壇づくりと文化祭展示作品づくり

十一月七日(日)花壇づくりと文化祭展示作品づくりを行いました。まず、参加児童全員でグリーンキーパーの方々から指導をして頂きながらチューリップの球根を花壇に植えました。

その後、文化祭展示作品づくりとしてDVDを使ったコマづくりに取り組みました。色とりどりに台紙やDVDに好きなデザインや絵を描き、コマを回しては色を塗り足したりして、楽しみながら児童それぞれ個性あふれる作品が出来上がりました。春には花壇に植えたチューリップがきれいに咲くことを期待しています。



## 親子炊き出し訓練

十月二十四日(日)に親子炊き出し訓練に参加させていただきました。

コロナ禍での開催ということもあり、自由参加という形をとらせてもらいました。赤十字奉仕団の方々に教えてもらいながら、湯呑みで米を入れそれを袋に移し替え、水を入れ袋の口を結ぶ作業を何回も繰り返し行ううちに、作業効率も上がり予定数の完成までスピーディに終わることができました。また、消防南山見分団との交流会も併せて行い、消防車の試乗も行い、貴重な体験をする事ができました。

災害は無事に越したことはないですがいざという時に自ら考え行動に移せるように育てて欲しいと願います。

(児童クラブ会長 瀧田 龍也)

# 安全・防災部会

## 机上訓練で防災意識を高める

南山見地域づくり協議会安全防災部会主催の訓練をしました。国内のコロナはオミクロン株へと変異し、感染者が上昇の二途です。近隣地区の避難訓練においても、コロナに罹患したことを想定した避難訓練が一般的となっております。

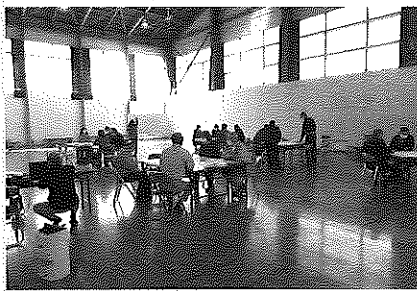
そういった状況下、十月二十四日蜜となる集団行動は避けて、防災会の隊長・班長クラスでコロナを想定したハグゲーム(机上訓練)を開催しました。発熱の症状がみられる方は、八乙女サロン会館を避難先として利用していくということが、確認できたのではないかと思います。

問題点、課題としては濃厚接触者の扱いです。明らかに症状がみられる方は当然八乙女サロン会館の方へ移動していただくわけですが、濃厚接触者の人数が多くなり収容人員が飽和状態になることや、エッセンシャルワーカーをいかに確保するのかなどが想定されます。

ワクチン接種が進みいざれコロナは収束するとは思いますが、コロナ対策を講じた訓練のマニュアルを策定することが喫緊の課題であると考えております。

地域の皆様のご指導、ご協力をよろしく申し上げます。

(安全防災部会長 富田 豊志)



# 防犯組合

## 令和3年度 カギかけ防犯キャンペーン

南山見地区防犯組合では、十一月十五日(三十日)の間、令和3年度カギかけ防犯キャンペーンを実施しました。

各町内の公民館に防犯ポスターの掲示とキャンペーンの旗を掲げ、十二月二十一日に開催された「八乙女文化祭&敬老の集い」において、特設展示ブースを設け、来場者にカギかけ意識の高揚と盗難犯罪減少を目的とした啓発活動を行いました。



## 富山県防犯組合 地域安全功労団体表彰

十月六日(水)富山県教育文化会館において令和三年第二十八回全国地域安全運動富山県民大会が行われました。

当地区の日頃の青パト出動やカギかけ運動などの活動が認められ、南山見地区防犯組合が地域安全功労団体に選ばれました。

歴代の防犯組合関係者、地区住民の皆さんの日頃からの防犯活動へのご協力の賜物です。今後とも防犯活動にご理解とご協力をお願いします。

(南山見地区防犯組合 堀 雅幸)



# 成人をお迎えの皆さん おめでとうございませす 1月10日

井波総合文化センターにおいて、井波地域成人式が行われました。新型コロナウイルス感染症防止対策として、昨年同様の来場者数の制限や、来場者の検温や手指消毒などを徹底した中での開催となりました。

南山見地区からは、八名の新成人が出席し、旧友との再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていきました。式典では、新成人代表への記念品目録の授与や謝辞に続き、実行委員メンバーが編集した、学生時代の「思い出のスライド」の上映で会場は盛り上がっていました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策で少し寂しい成人式となりましたが、二年ぶりに小学校、中学校時代の恩師が出席されるなど、徐々にではありますが普段の生活が戻りつつあります。

With コロナとして記憶に残る成人式になったのではないのでしょうか。  
(事務局)



## はたちの抱負



前川 陸 (川原崎)

私は現在、石川県の大学に通い、電気電子について学んでいます。大学では、ボランティアサークルに所属しています。そこには、石川県のいろんな大学の人たちが所属しています。その人たちと交流することで、様々な考えに触れ、たくさん良い刺激をもたらしています。特に、今の自分を見直すことができ、自分の将来についても考えを持つことができました。

四月からは大学三年生になります。残り少ない学校生活を楽しみながら、新しいことに挑戦し、就職活動も視野に入れていきたいと思っています。

現在も猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、不自由な生活が続いています。このような状況だからこそ、たくさんの人々に支えられていることを改めて実感しています。これまで支えてくださった、家族、友人、先生に恩返しができるように、日々励むとともに、自分が目指している将来に向かって、努力を怠れず過ごしていきたいです。



## 行事予定

2月13日(日) 午前9時より  
第33回 南山見地区「三世代交流の集い」 中止

2月17日(木) 午後7時より  
「八乙女講座」SDGsってなに?~私ができるSDGsへの取組~  
講師 南砺市エコビレッジ推進課 課長 亀田 秀一氏 中止

## 南山見人口

令和3年12月31日現在  
( )は昨年度 住民基本台帳より  
人口は、マーシ園の51名を含みます。

男	453名	( 461名)
女	482名	( 492名)
計	935名	( 953名)
世帯数	266戸	( 266戸)

## 晴れの受章・表彰された皆さん 誠におめでとうございませす

◆ 叙勲 瑞宝双光章

山崎 敏幸 様  
(院瀬見四区)

◆ 富山県公民館連合会  
優良職員表彰

村松 慶孝 様  
(沖)



## 編集後記

障がい者寄り添い講座・災害救援ボランティア勉強会に参加しました。

地区住民や福祉関係者等がどのような支援ができるのかを考える機会として、役割と仕組みを理解するために、「自助・共助・公助」の三点が必要だと感じました。

災害が起きた場合に車椅子の方が困ることは、トイレ、食料、飲料水とのことです。あなたの命を守るのは、あなた。防災と共生は自分で取り入れること。特に地域の人のつながりが大切で、自分の存在をアピールする事が大事です。家の中の危険箇所の点検と、危機管理意識を持つことで、防災対応能力の向上につなげるようにしたいです。

さて、この度も会報八乙女一三二号をご愛読いただきありがとうございます。 (編集委員長)

南山見  
地域づくり協議会  
HPはこちら

